

令和4年度 学校評価アンケート（教員対象）集計結果

	アンケート項目	A + B
1	本校の教職員は、教育目標を理解し、目標達成に努力している。	100%
2	課・学年の目標は教育目標に基づいて計画され、実行されている。	100%
3	3 ヶ年を見通した進路指導がなされている。	97%
4	生活指導について、全職員が共通意識を持ち、一体となって取り組んでいる。	86%
5	各学年における進路指導目標と具体的指導事項が明確である。	97%
6	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や生徒・保護者への周知に努めている。	97%
7	生徒の多様な資質・能力・適性を的確に把握している。	97%
8	年間の指導計画が適切に立てられ、それに基づいて授業が行われている。	97%
9	指導法の研究、教材の精選・工夫を行っている。	97%
10	学習意欲や達成度の違う生徒に対する指導法を工夫している。	89%
11	課題は家庭学習で十分取り組める内容・分量である。	92%
12	評価はテストの成績だけでなく、学習意欲や課題への取り組みなどを含めて行っている。	97%
13	i-Seeプロジェクトの意義を十分理解し、積極的に取り組んでいる。	95%
14	本校の部活動は活発である。	78%
15	部活動と学習の両立がなされている。	86%
16	部活動の活動時間は適正に守られている。	100%
17	部活動に対して家庭からの理解が得られている。	97%
18	生徒会行事(合唱祭・クラスマッチ・文化祭)を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	92%
19	生徒会行事(生徒総会・各種委員会等)を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	92%
20	適切な進路選択希望、進路達成に必要な能力の伸長が図られている。	97%
21	生徒の望ましい進路意識の高揚とともに早期に進路目標の確立が図られている。	89%
22	進路実現に向けて積極的に取り組む姿勢・態度の涵養がなされている。	97%
23	生徒・保護者に対して入試制度の理解と進路達成のために必要な情報の提供と適切な助言が行われている。	92%
24	進路資料の適切な管理・分析・処理を行い、情報の効率的・有効的活用がなされている。	95%
25	生徒指導において、家庭や関係諸機関と連携が出来ている。	95%
26	教職員は、保護者との連携を密にし、教育活動の向上に資する努力をしている。	97%
27	生徒から悩みや不安の相談を受けた時、充分時間を取って対応している。	100%
28	生徒の個人情報に関する管理システムが確立し、プライバシーが守られている。	95%
29	学校を、生徒が安心して生活できる場として提供している。	97%
30	日常の清掃やゴミの分別など校内外の環境美化に対する教職員の意識が高い。	89%
31	図書館には読書や教育活動に必要な情報を得るための十分な書籍などがあり、それらに関する情報も周知されている。	100%
32	本校は、社会や地域に貢献する活動に、積極的に取り組んでいる。	84%
33	災害・事故・事件等に対して迅速かつ適切な対処が出来るよう役割分担が明確化されている。	97%
34	施設・設備の拡充は、学校の実態を踏まえ、また長期的見通しに立って計画・改善されている。	71%
35	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	97%
36	学校ホームページをよく閲覧する（A：月1回以上、B：年に数回、C：年に1～2回、D：見ない）	66%
37	グループウェア、Googleクラスルームの活用について（A：毎日、B：時々活用、C：めったに活用していない、D：活用していない）	92%

